



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「海水浴場の数」と「醤油メーカーの数」です。



海水浴場の数

検索



醤油メーカーの数

検索





海水浴場の数

いよいよ夏本番。ビーチで海水浴等を楽しまれる方も多いのではないのでしょうか。

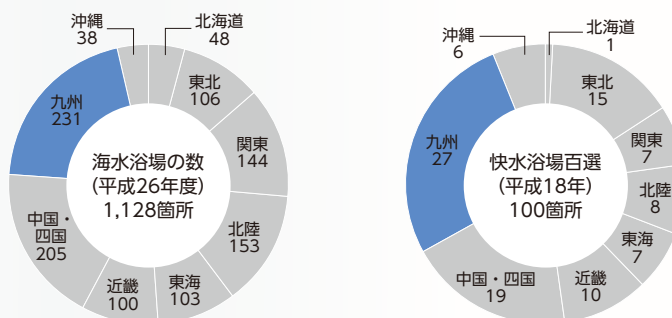
その海水浴場の数を地域別に見ると、九州が7県計で231箇所と全国(1,128箇所)の約20%を占め、全国トップとなっています。

海水浴場が多いのは、九州の海岸線の長さ(10,189kmと全国の約28.6%を占める)や温暖な気候等が背景にあると考えられますが、更に九州の海水浴場は、「快水浴場百選(※)」に、九州7県で27箇所(全体の27%)が選ばれるなど、人気が高いことも特長です。

特に優れた「特選」に九州で唯一選ばれた、下阿蘇ビーチ(宮崎県延岡市)をはじめ、九州では各地でより快適な海水浴場の実現に向けて、清掃活動などの地道な取組みが続けられていることが、この高い評価を支えています。

※快水浴場百選：環境省が「水質」、「環境への配慮」、「安全性」、「利便性」、「水と人との関わり」といった5項目を総合的に評価して選定した海水浴場

全国各地の海水浴場等の数



(出所：(公社)日本観光振興協会「全国観光情報データベース」平成27年1月、平成18年環境省選定「快水浴場百選」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

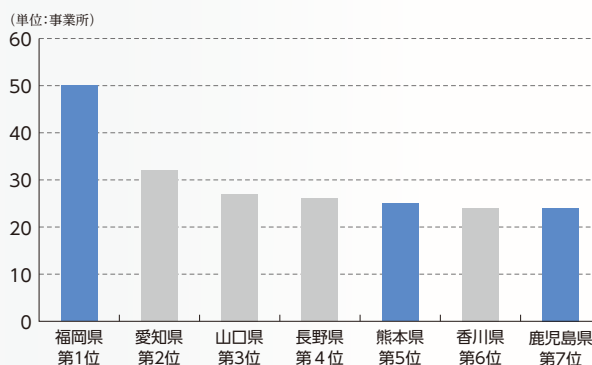


醤油メーカーの数

醤油メーカー数(従業者4人以上の事業所)が最も多い都道府県は福岡県で、50事業所を数えます。

全国の醤油メーカー数が過去60年間で約5分の1にまで減少してきたなか、福岡県では多くの中小醤油メーカーが現在まで残っていますが、その背景にあるのは、全国に先駆けて取り組んだ生揚(醤油の原液)生産の協業化です。福岡県内の中小醤油メーカーは、大手メーカーに対する競争力を確保するため、昭和42年に共同で「福岡県醤油醸造協同組合」を設立し、醤油の製造工程の大部分を占める生揚生産を協業化しました。そして各メーカーは同組合から仕入れた生揚に独自の味付けを行うことで、それぞれのブランドが確立しました。設備投資や人件費等のコストを抑えつつ、多種多様な醤油を製造できる体制が早くから整えられたことが、現在の福岡の醤油作りにつながっています。

醤油メーカーの数(従業員4人以上の事業所)



(出所：経済産業省「工業統計調査(平成26年)」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 熊本地震の影響により弱さがみられる

福岡県の景気は、4月に発生した熊本地震の影響により弱さがみられます。

住宅建設は4ヵ月連続で前年を上回りましたが、熊本地震によるサプライチェーン寸断の影響を受け、輸送機械が低下する等、生産活動は弱含みの兆しがみられます。また、個人消費についても熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、主力の衣料品が前年を下回ったほか、公共工事も11ヵ月連続で前年を下回りました。

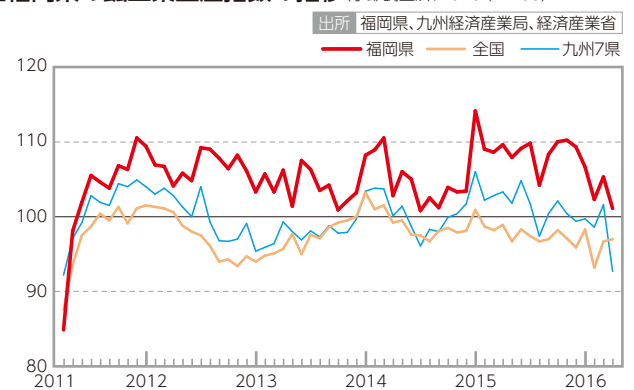
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は101.1と前月比4.0%低下しました。

主要業種では、熊本地震によってサプライチェーンが寸断され、自動車工場が稼働停止に追い込まれた輸送機械が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2. 個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

5月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.9%減の543億円となりました。

熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



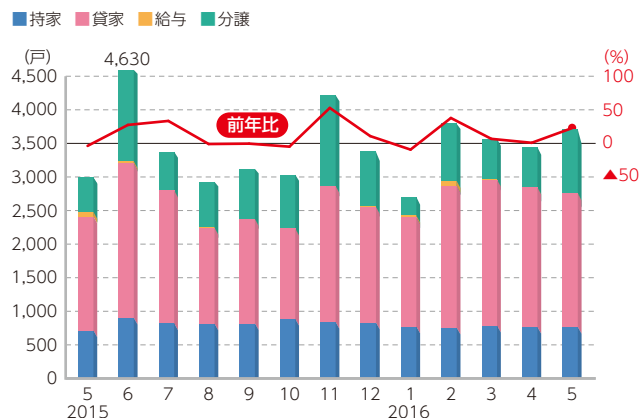
3.住宅建設 | 4ヵ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比23.7%増の3,731戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



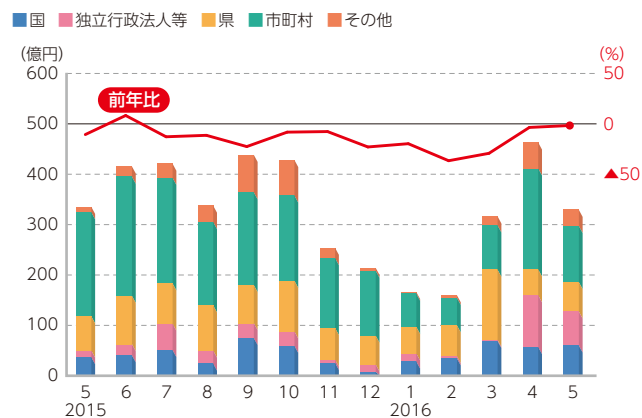
4.公共工事 | 11ヵ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比8.1%増の439件、金額が同1.7%減の332億円となりました。

発注者別では、大学施設新築工事の大型案件があった「独立行政法人等」等が前年を上回りましたが、「県」「市町村」が前年を下回り、全体でも11ヵ月連続で前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比42.2%減の26件、負債総額は同18.4%減の約27億円となりました。

書店で6億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震の影響により弱含んでいる

熊本県の景気は、4月に発生した熊本地震の影響により弱含んでいます。

熊本地震の影響を受け、特殊産業機械が減産となったはん用・生産用機械をはじめとしたほぼ全業種で低下する等、生産活動は弱含んでいます。また、個人消費についても熊本地震による消費マインドの低下や店舗の一部休業が影響し、全ての品目において前年を大きく下回ったほか、住宅建設及び公共工事も前年を下回りました。

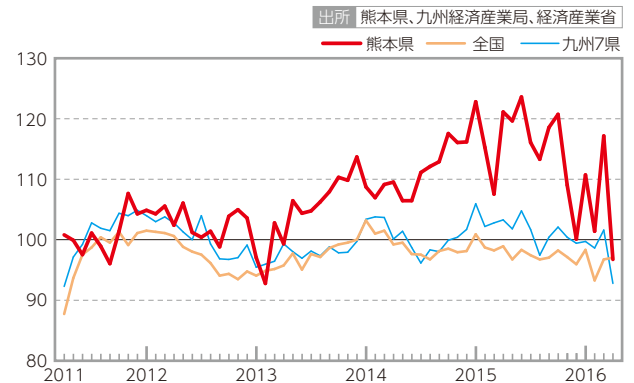
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.7と前月比17.6%低下しました。

熊本地震による生産設備の毀損やサプライチェーン障害等の影響を受けて、特殊産業機械が減産となったはん用・生産用機械や、医薬品の生産が減少した化学等、ほぼ全ての業種で低下する等、生産は弱含んでいます。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

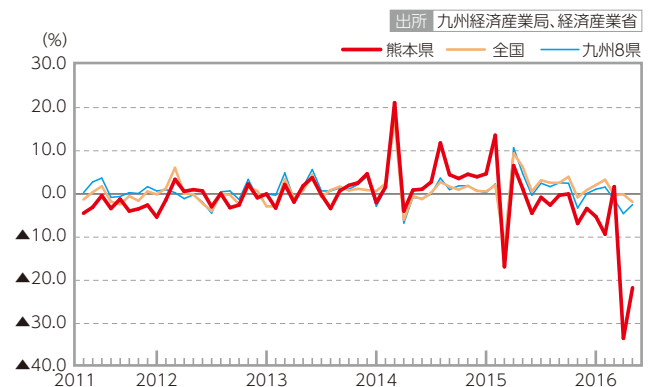


2.個人消費 | 大幅に落ち込んでいる

5月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比21.9%減の98億円となりました。

熊本地震による消費マインドの低下や店舗の一部休業が影響し、全ての品目において前年を大きく下回る等、個人消費は大幅に落ち込んでいます。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



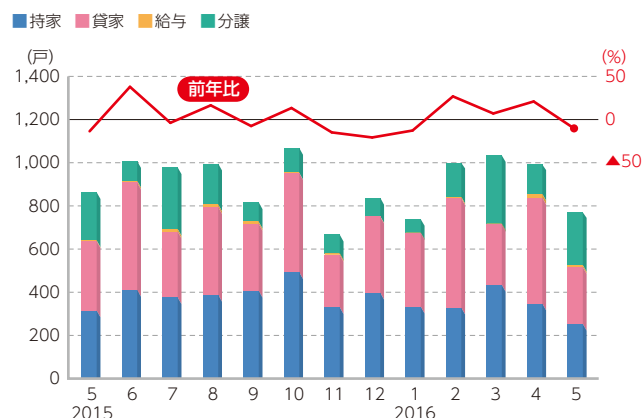
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.8%減の776戸となりました。

「分譲」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」が前年を下回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



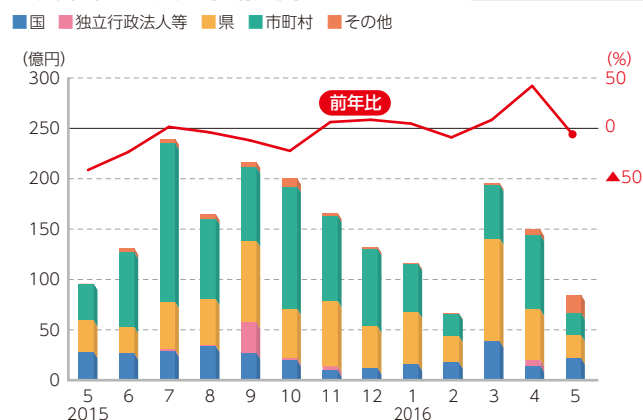
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比24.4%増の265件、金額が同6.2%減の85億円となりました。

発注者別では、環境関連施設補修工事の大型案件があった「その他公共的団体」が前年を上回りましたが、「国」「県」「市町村」が前年を下回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



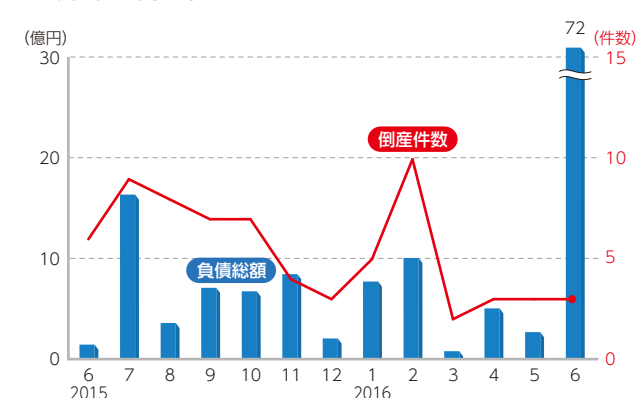
5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の3件、負債総額は72億円となりました。

不動産業で71億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響により一部に弱さがみられる

長崎県の景気は、底堅く推移していますが、4月に発生した熊本地震の影響により一部に弱さがみられます。

修繕船が増産となった輸送機械が上昇する等、生産活動は底堅く推移しているほか、公共工事が2ヵ月連続で前年を上回りました。一方で、個人消費は熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、飲食料品を除いた全ての品目において前年を下回ったほか、住宅建設についても前年を下回りました。

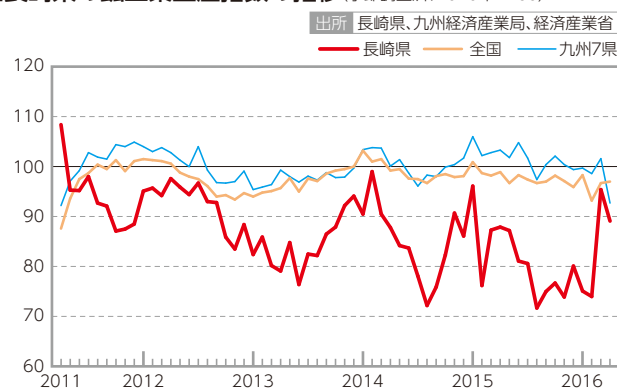
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は89.1と前月比6.6%低下しました。

主要業種では、交流発電機が減産となった電気機械は低下したものの、修繕船の生産が増加した輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

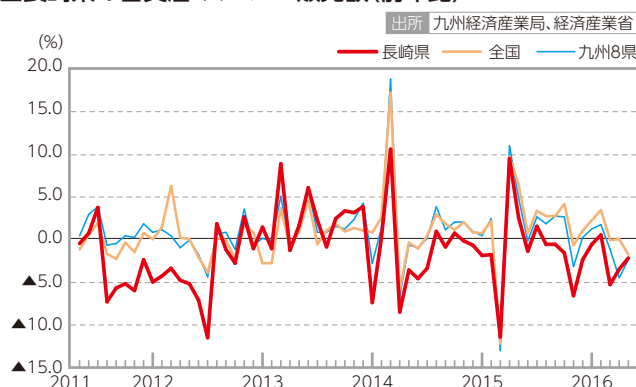


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

5月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.3%減の89億円となりました。

熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、飲食料品を除いた全ての品目において前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





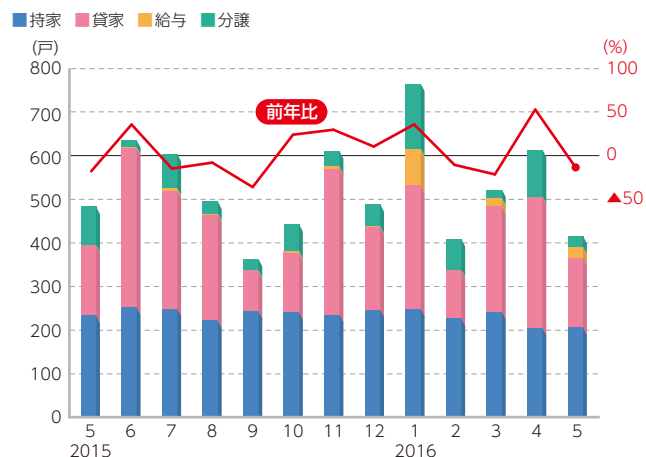
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比14.0%減の419戸となりました。

「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



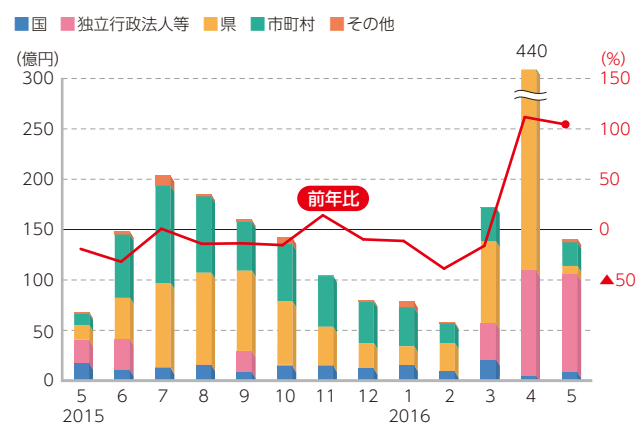
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.6%増の148件、金額が同106.7%増の142億円となりました。

発注者別では、新幹線トンネル工事の大型案件があった「独立行政法人等」が前年を大きく上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比80.0%減の1件、負債総額は同98.6%減の3千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 熊本地震の影響により一部に弱さがみられる

佐賀県の景気は、4月に発生した熊本地震の影響により一部に弱さがみられます。

個人消費は主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しているほか、住宅建設及び公共工事が2ヵ月ぶりに前年を上回りました。一方で、熊本地震の影響を受け、医薬品が減産となった化学が低下する等、生産活動は弱含んでいます。

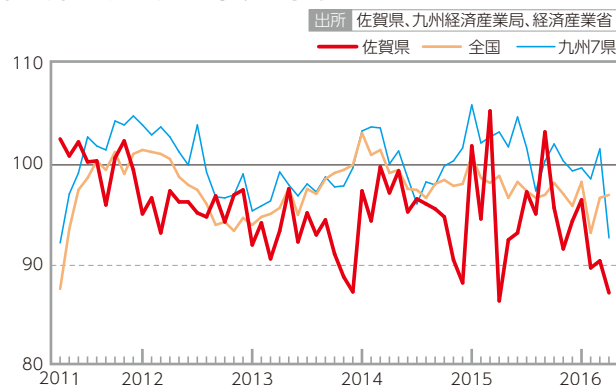
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は87.2と前月比3.5%低下しました。

熊本地震によるサプライチェーン障害等の影響を受けて、主要業種では、医薬品が減産となった化学や、土木建設機械の生産が減少した一般機械が低下する等、生産は弱含んでいます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

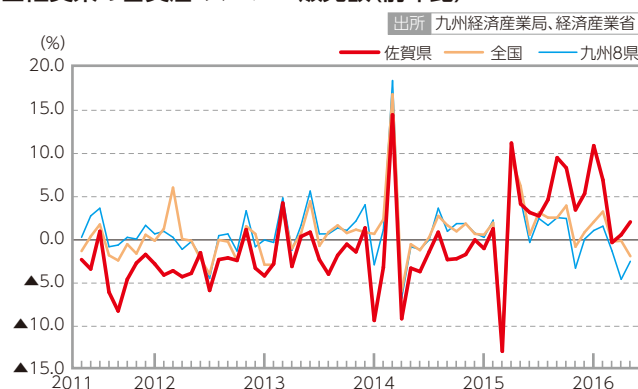


2.個人消費 | 底堅く推移している

5月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.1%増の52億円となりました。

主力の飲食料品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





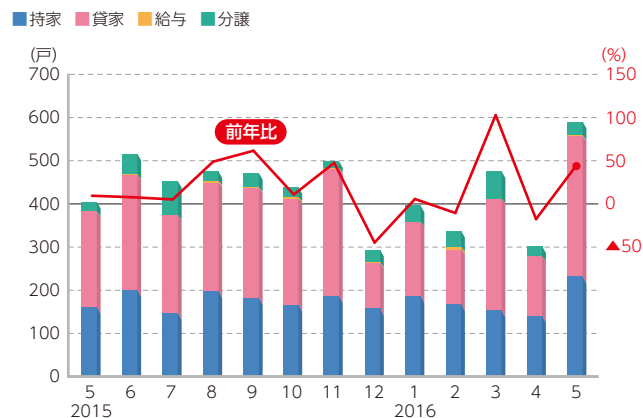
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比45.8%増の595戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



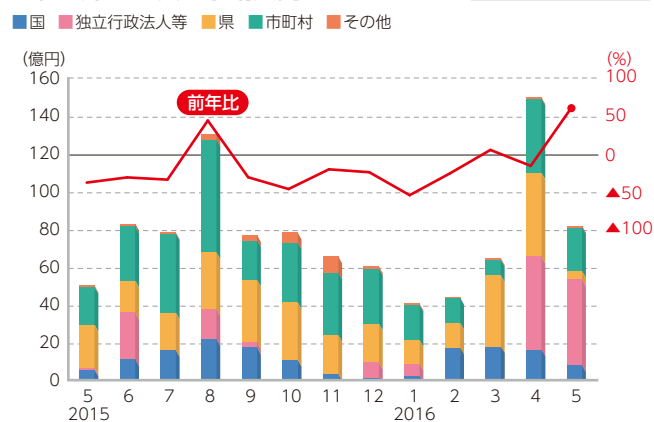
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比15.0%増の123件、金額が同63.3%増の82億円となりました。

発注者別では、新幹線トンネル工事の大型案件があった「独立行政法人等」が前年を大きく上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



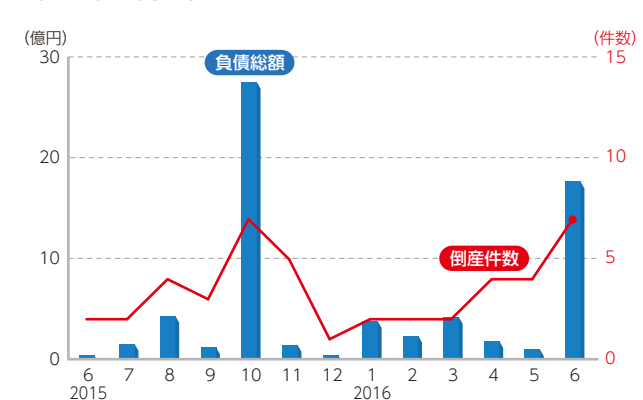
5.企業倒産 | 4ヵ月連続で前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が7件、負債総額は約18億円となりました。

旅館業で約7億円の倒産が発生したほか、サービス業で約5億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響により一部に弱さがみられる

大分県の景気は、底堅く推移していますが、4月に発生した熊本地震の影響により一部に弱さがみられます。

半導体部品が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産活動は底堅く推移しているほか、住宅建設が2ヵ月ぶりに前年を上回りました。一方で、個人消費は熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、主力の衣料品が前年を下回ったほか、公共工事についても前年を下回りました。

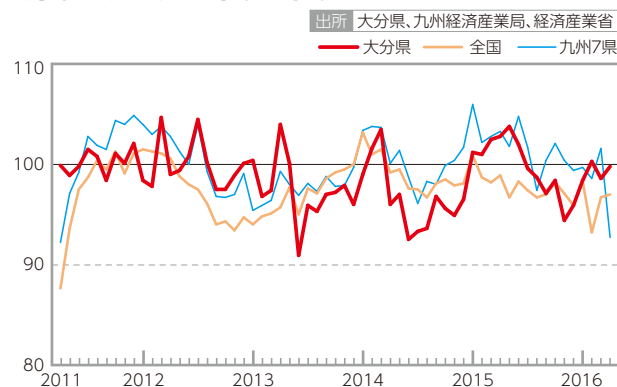
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は99.8と前月比1.2%上昇しました。

主要業種では、デジタルカメラが減産となった電気・情報通信機械は低下したものの、半導体部品の生産が増加した電子部品・デバイスが上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

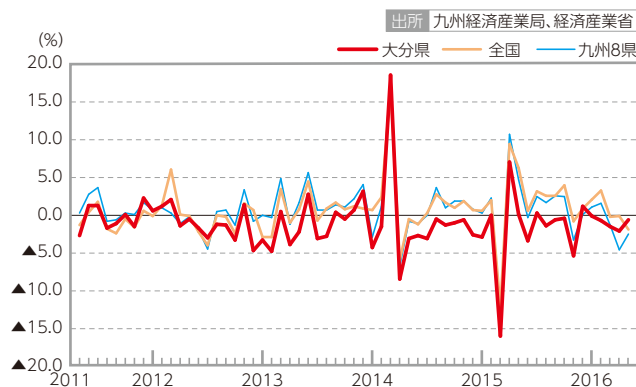


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

5月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.6%減の86億円となりました。

熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





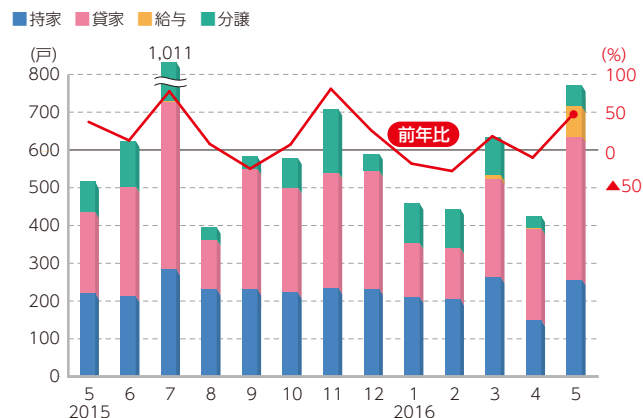
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比49.1%増の777戸となりました。

「分譲(マンション)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「給与」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



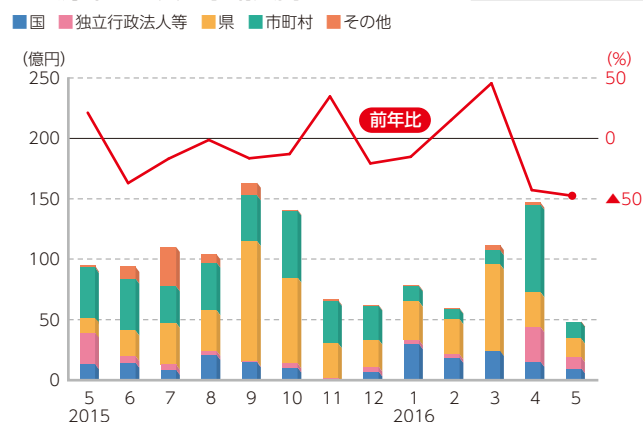
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.8%減の105件、金額が同49.3%減の48億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、「国」「独立行政法人等」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



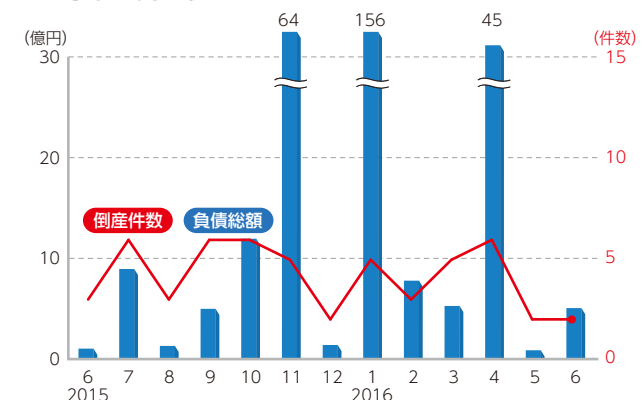
5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は約5億円となりました。

建設業で約4億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響により一部に弱さがみられる

宮崎県の景気は、底堅く推移していますが、4月に発生した熊本地震の影響により一部に弱さがみられます。

食料品が上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、住宅建設及び公共工事についても前年を上回りました。一方で、個人消費は熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回りました。

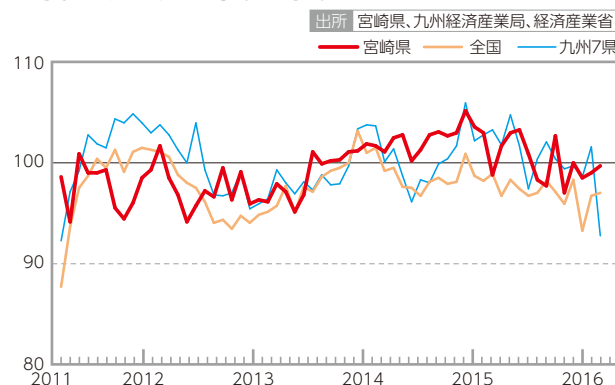
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は99.7と前月比0.7%上昇しました。

主要業種では、はん用・生産用・業務用機械が低下したものの、食料品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

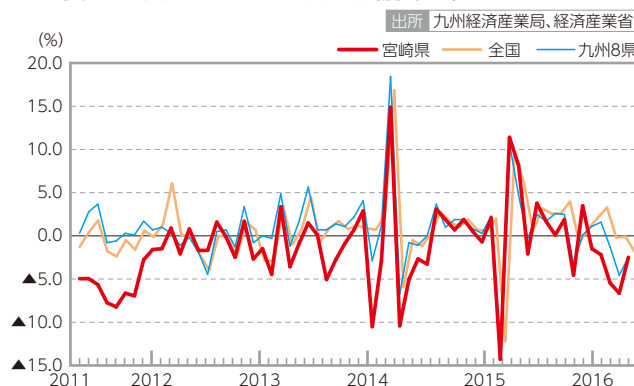


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

5月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.5%減の60億円となりました。

熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





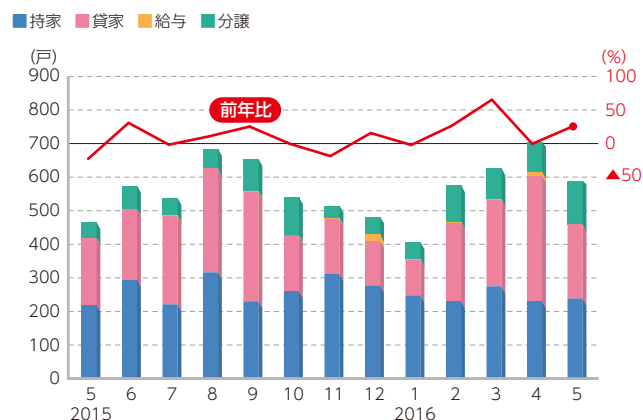
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比26.7%増の594戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



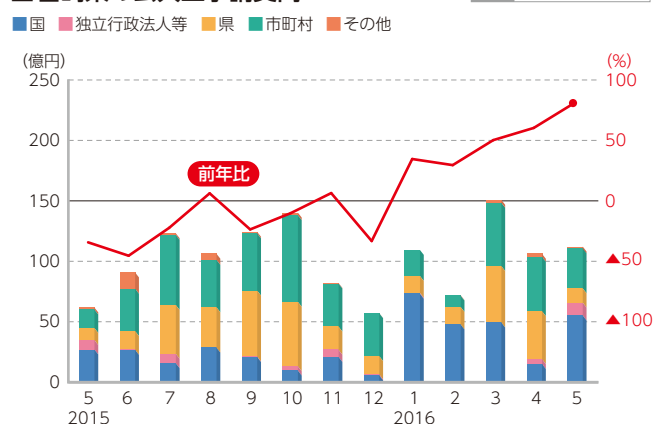
4.公共工事 | 5ヵ月連続で前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比44.4%増の231件、金額が同81.7%増の113億円となりました。

発注者別では、高速道路トンネル工事の大型案件があった「国」や、防災施設新築工事のあった「市町村」等が前年を上回り、全体でも5ヵ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比66.7%増の5件、負債総額は約4億円となりました。

貴金属販売業で約3億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 熊本地震の影響もあって弱含んでいる

鹿児島県の景気は、4月に発生した熊本地震の影響もあって弱含んでいます。

公共工事は4ヵ月連続で前年を上回りましたが、住宅建設は2ヵ月連続で前年を下回りました。また、食料品が低下する等、生産活動は弱含んでおり、個人消費についても熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、主力の衣料品が前年を下回りました。

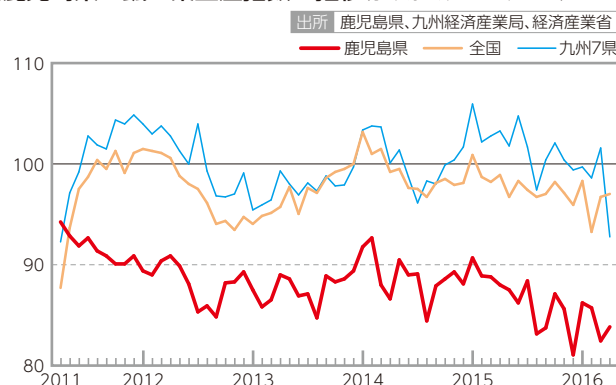
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 弱含んでいる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は83.7と前月比1.7%上昇しました。

主要業種では、はん用・生産用機械は上昇したものの、食料品が低下する等、生産は弱含んでいます。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

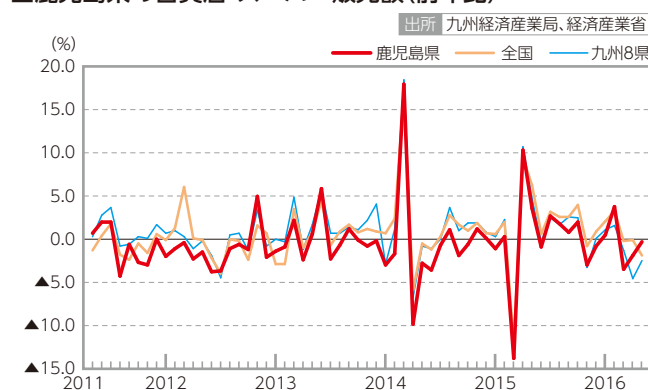


2. 個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

5月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.3%減の128億円となりました。

熊本地震による消費マインド低下の影響が続いており、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





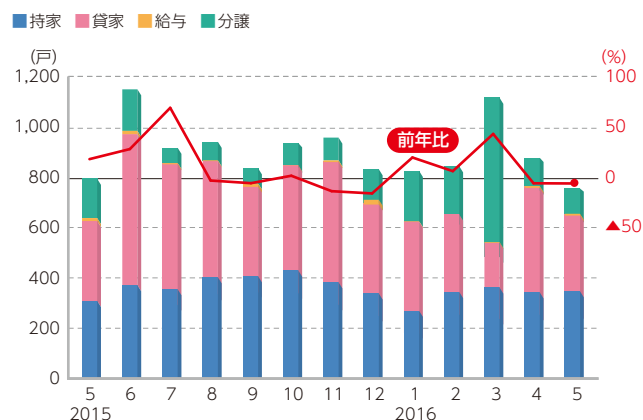
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.9%減の760戸となりました。

「持家」が前年を上回ったものの、「貸家」「分譲」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



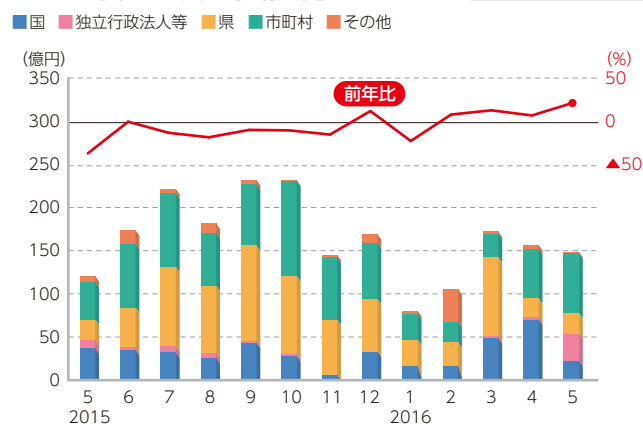
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比0.4%増の225件、金額が同23.5%増の150億円となりました。

発注者別では、大学病院新築工事の大型案件があった「独立行政法人等」が前年を大きく上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比20.0%増の6件、負債総額は同9.9%増の約5億円となりました。

製造業で約3億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

